

全国へのアピール

安倍 9 条改憲 NO ! 3000 万人署名達成で、
9 条改憲を阻止し、安倍政権を退陣させましょう

2018 年 7 月 24 日

憲法共同センター運営委員会

憲法を守り生かそうと全国で奮闘されているなかまのみなさん、

私たちは、暴走と悪政の限りをつくす安倍内閣に、「安倍内閣総辞職」を求めるとともに、「9 条改憲を語る資格なし」と、3000 万人全国統一署名を軸に、「安倍 9 条改憲 NO !」、市民と野党の共闘のたたかいを前進させてきました。3000 万人全国統一署名は、憲法共同センターの直近の集計でも 1500 万人を突破し、戦争法廃止のたたかいかいに匹敵するとりくみになりました。この通常国会で安倍政権は 9 条改憲発議を狙っていましたが、憲法審査会をほとんど開かせず、目論見を葬り去りました。また、世論調査結果をみても、森友・加計問題に納得していない声は圧倒的です。積極的目標をかかげ、地域全住民対象に、署名推進に奮闘されてきた全国のなかまのみなさんに、敬意を表明するとともにお礼を申し上げます。

全国のなかまのみなさん、6 月 12 日に米朝首脳会談が実現し、朝鮮半島の非核化と北東アジアの平和体制の構築にむけて大きな一歩が踏み出されました。この歴史的な前進を歓迎するとともに、憲法 9 条を持つ日本として、平和外交の先頭に立つことを日本政府に求めていきたいと考えます。安倍政権は戦争法や 9 条改憲の最大の口実として、北朝鮮の「脅威」をあげていましたが、根拠を失いつつあります。安倍政権による「戦争する国」づくりをやめさせることは、日本と北東アジアの平和と安定にとって不可欠です。

しかし、安倍政権は 9 条改憲発議をあきらめたわけではありません。来年の統一地方選挙や参議院選挙などの政治日程を見据えると、秋に 9 条改憲発議にひた走る危険性をはらんでいます。

安倍政権を退陣に追い込み、9 条改憲を阻止する最大の力は、3000 万人署名に託された市民の思いと、市民と野党の共闘の力です。市民アクション実行委員会は、3000 万人署名達成をよびかけています。私たちは、その提起を正面から受け止め、各組織がかかげた目標達成、地域全住民を対象にした個別訪問活動などを軸にこの秋さらなる大運動をすすめたいと考えています。そのために、10～11 月を「安倍政権退陣、9 条改憲阻止、3000 万人署名達成目指す推進月間」として設定し、9 月 15 日に推進のための学習交流会(別紙ご案内参照)を開催します。名実ともに 3000 万人の署名をつみあげ、安倍政権を退陣に追い込むとともに 9 条改憲を葬り去りましょう。

以上